浜嶋です。
こんにちは。

現在、私が中心になり、小委員会で2団の危機管理マニュアルを作成しています。

スカウトを預かる団として、各隊リーダーと協力して、しっかりとした安全体制を築きたいと思います。

事故が起こらないようにするためには、危険予知を行い、安全にプログラムが行える計画を立てることでありますが、これもどのようにすべきかも十分ではないでしょう。日頃、団会議において、事前に提出してもらった計画書をチェックさせてもらい、団会議で確認や是正の指示をしています。

また、マニュアルには、2団で起きた過去の事故事例を盛り込んでいますが、私自身が一番心配なことは、事故が起きたらどのように行動すればいいかと言うことがとっさにわからないということです。

経験のない隊長、副長、団委員も同様だと思います。

そこで、このマニュアルの中で、事故対応表を作成しています。そして、事故対応訓練を実施することで、団も含めて各リーダーがどのように行動すればいいかを体験したいと考えています。

さて、BVS隊において、事故対応試験的訓練を実施しました。

日時：6月12日（日）10：45～11：15

場所：栗ヶ丘会館どんぐり広場

参加者と役割：

隊：白崎隊長、下村副長、藤丸副長

保護者：大田団委員

団：浜嶋団委員長、加納育成会長、下村団委員

消防署：吉田団委員

資料：BVS隊用事故対応訓練表

事故が起きた時の状況と対応の想定：

BVS隊が緑地公園で活動中、スカウトが木から落ちて負傷した。そこで、救急車を呼んで病院に搬送することにした。

たまたま、スカウトの保護者はこの日は付き添っていなかった。団委員長も欠席していた。

訓練は、事故対応訓練表に基づいて実施します。

実施内容：

- ・最初に実施内容を全員に説明して、手順を明確にしました。

- ・連絡は、携帯電話を使用しました。
- ・事故発生から対策本部の解除まで、スムーズに行いましたが、改善点も認識できました。

反省会：

- ・各自が、何をすればいいかを実際にやってみて確認できたことがよかったです。
- ・事故対応訓練表に補足する部分が見つかり、修正することにしました。

小委員会での反省：別途反省を行いました。

- ・訓練の実施は、何をすべきかを確認できることがいい。
- ・特に各隊指導者は、よく頭に入れておくか、対応表を隊集会で携帯することが必要。
- ・連絡先の電話番号を携帯に保存しておく。メールアドレスだけではだめである。確認すべき。
- ・各隊毎に状況が違う。それぞれに訓練表が必要となる。
- ・今回は、全員が同じ場所で実施した。離れているともっと実際的になるが訓練が思うようにできないことも考えられるので、一緒の場所がいいのではないか。団会議で訓練することも可能である。
- ・できたら、もう一度離れたところでやるのもいい。
- ・この訓練で、危険予知意識も高まると考えられる。特に事故報告の実施及び内容を考えた時に、事故を起こさせない意識が芽生える。下見や計画書の作成のレベルが上がる。
- ・事故発生対応訓練は、危機管理意識を高める方法の一つとして有効ではないか。事故を起こさないことに万全を期したい。

6月の団会議で説明し、他の隊も夏のプログラム前に実施したいと考えています。

また、SCOUTING誌に掲載された安全に関する記事が日本連盟の安全委員会から発行されていますので、一部をコピーしてお渡しします。

安心して安全な活動を目指して楽しみましょう。